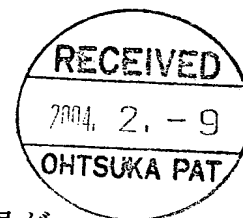


整理番号:4045055 発送番号:045477 発送日:平成16年 2月 9日 1

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第284680号
起案日	平成16年 2月 4日
特許庁審査官	湯本 照基 9404 2P00
特許出願人代理人	大塚 康德 (外 2名) 様
適用条文	第29条第2項



この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1乃至13
- ・引用文献等 1

・備考 引用文献1には、「表示・編集用の低解像度データと印刷用の高解像度データ(2種類以上でもよい)を保管し、端末よりの要求に従って、低解像度データを端末に送信し、また、端末からの印刷要求に従い印刷用画像データをプリンタの解像度と合わせ、プリンタに送信するプリンタサーバー及び当該装置の制御方法及び画像システム」が記載されている。

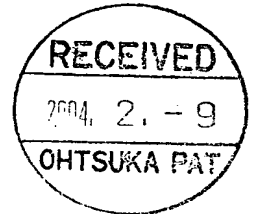
ここで、端末からの印刷要求として、サイズ指定を行うことは、PDL等のプリンタ(及びプリンタサーバ)コントロールの技術分野において従来より周知慣用技術であり、当該端末からの要求に従い、サイズを変更してプリンタに出力するようにすることは、当業者であれば容易である。この際に、複数有する解像度データのうち、最も適切な解像度データ(必要サイズの解像度を超え、かつ近接したデータ)を選択することは、極めて自然なことであり、このことをもって、特段の困難性を有することとは、認められない。

また、プリンタサーバーを複数のサーバーで役割分担させること(画像サーバを使用すること)は、コンピュータの技術分野における当業者であれば容易に想到しうるものである。

また、制御方法をプログラム化することは、従来より周知慣用技術である。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覽



1. 特開平08-16802号公報

この拒絶理由通知書の内容に関して不明な点がある場合、又は面接を希望する場合は下記までご連絡ください。

特許審査第一部印刷・プリンター 審査官 湯本照基

TEL 03 (3501) 6873 FAX 03 (3580) 6902

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野	I P C第7版	B 4 1 J	5 / 3 0
		B 4 1 J	2 9 / 3 8
		G 0 6 F	3 / 1 2

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。